

講義名	情報処理特別研究Ⅱ		
科目区分	特別研究		
担当教員	澤田 清		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 1時限	授業形態	
履修開始年次	3年生	単位数	2
備考			
主題と概要			
データ構造とアルゴリズムおよびソフトウェア設計についてより深く学ぶことにより、情報技術の応用力および実践力を身に付ける。基本情報技術者試験の午後問題が解けるレベルを目指す。将来システムエンジニアなど情報技術系の仕事に就きたい学生の履修を歓迎する。			
到達目標			
データ構造とアルゴリズムおよびソフトウェア設計について、深く理解するとともに応用力および実践力を身に付ける。			
提出課題			
授業中の問題演習・小テストを予定している。			
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
授業中に、全体または個別に説明する。			
評価の基準			
問題演習・小テスト（50%）、定期試験（50%）			
履修にあたっての注意・助言他			
「情報科学」「コンピュータ基礎」「経済分析のためのプログラミングⅠ・Ⅱ」「データ処理」「システム開発」「応用プログラミング」などの情報系科目をできる限り履修しておくこと。また、「情報処理特別研究Ⅱ」の履修前に「情報処理特別研究Ⅰ」を修得しておくことが望ましい。			

教科書
. 使用しない。
プリント資料及び参考文献
毎回、プリント資料を配付する。
授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. データ構造 (1) 2. データ構造 (2) 3. データ構造 (3) 4. アルゴリズムの基本 (1) 5. アルゴリズムの基本 (2) 6. アルゴリズムの基本 (3) 7. アルゴリズムの応用 (1) 8. アルゴリズムの応用 (2) 9. アルゴリズムの応用 (3) 10. ソフトウェア設計の基本 (1) 11. ソフトウェア設計の基本 (2) 12. ソフトウェア設計の基本 (3) 13. ソフトウェア設計の応用 (1) 14. ソフトウェア設計の応用 (2) 15. ソフトウェア設計の応用 (3)
授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
授業時に配付するプリント資料を用いて、授業内容および演習問題の復習を毎回4時間程度行うこと。
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
実務経験の有無及び活用
備考